



院長 須藤 英仁

明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。昨年は私も法人にとりましてはまさに変動の年でした。新病院への引っ越しにはじまり、電子カルテの導入、眼科診療の開設など何れも10年に1度の事業が1度に行われた年でした。患者さんの本当にありがたいご協力のもと、どうか必ずすべての事業が軌道に乗ります。本当にありがとうございました。

新病院完成後、病院が明るくなった、廊下が広くて気持ちがいいなどのお褒めの言葉もいただきありがとうございます。ときには患者さんに余分に待たせてしまいご迷惑をかけってしまったことや、医師が電子カルテの方ばかり見ていて診察が不十分だ、などのお叱りも受けてお置ります。当院では医療秘書を配置することにより少しでも患者さんとのコミュニケーションがうまくいくように考えております。しかし、まだ決して十分とはいえないと思います。ご不満な点もあるかと思いたい。がこれからも努力して行きたいと思っておりますのでよろしく願いします。またご意見箱なども設置してありますので何かご意見ありましたらお寄せいただきたいと思

さて今年のご目標を述べたいと思

います。今年のご目標のキーワードは【連携】です。すなわち新病院とさわやかクリニック（旧病院）の各施設との綿密な連携、当院が関係しております介護施設とのしっかりした連携、また当院の医師が産業医等を行っている事業所との連携、これらすべての施設としっかり連携を取って仕事を進めたいと思っております。特に介護事業所との連携は極めて重要と考えております。当院では『老人保健施設めぐみ』の運営や『軽費老人ホーム・ジョリエやなせ』などの運営もおこなっておりますが、これら施設について入所者の方や通所者の方が本当に安心して生活できるように努力していきたいと思っております。ときには「院長たまにはめぐみにも顔を見せろよ」などのお叱りも受けております。また昨年末の研究発表会では、当院のケアマネージャーに、もっとしっかり利用者のためになるよう叱咤激励しました。

高齢化社会を迎えすべての病気を治すことは不可能です。しかし1つや2つの持病があったとしても

【支える医療機関、支える介護施設】がしっかりしていれば患者さんの人生の大きな手助けになると思います。そんな施設となることを目指して当院で働くすべての職員が努力することをお誓い申し上げます。し上げ年頭のあいさつとさせていただきます。

新年のご挨拶

さわやかクリニック

院長 柳澤 肇



須藤病院ならびにさわやかクリニックをご利用の皆様、新年明けましておめでとうございます。さわやかクリニック院長の柳澤肇です。

平成20年5月15日より旧病院にてさわやかクリニックを開業いたしました。お蔭様で患者様の応援と従業員スタッフの協力で、無事に平成21年を迎えることが出来ました。さわやかクリニックでは、5月15日の開院日より12月30日まで約6千名の患者様にご利用いただきました。また併設老人保健施設めぐみも変わらずにご利用いただき本当にありがとうございました。開業以来毎日診療していただくにつれ、徐々に外来患者数も増加し、さわやかクリニックも地域に根ざした診療所へ成長したと思っております。さわやかクリニックでは、マルチCTを完備し、これまでに約160名の患者様にマルチCTで診断を行い、肺癌の発見や病状の経過観察等に役立っております。患者様に異常があれば直ちにマルチCT・レントゲン・エコー・脈波測定などの検査をして、より迅速な診断を下すことをモットーとし、本年度も掲げたいと思っております。さらに本院放射線科医師小川先生による読影体制も整い、より信頼の出来る診療体系にもなりました。このことは、地域の皆様にとって本当に有益な事と考えています。もちろん本院との連携もさらに綿密に行なっていきます。

さわやかクリニックでは、当初より、電子カルテ、オーダーリングシステムを十分に機能することが出来ました。このごろでは、患者様から『先生だいぶコンピューターがうまくなりましたね』『コンピューターばかりみないでこっちを見てよ！』『先生の健康が心配だよ！』などお声を掛けていただいております。私は、さわやかクリニックをご利用くださる患者さまを家族と思診察しています。院長として診療をしていますと全てのことが自分に責任があります。

毎日がプレッシャーではありませんが、患者さんの訴えを良く聞き、病気の早期発見・患者様の体調管理に努めて行きたいと思っております。待ち時間が長くなりご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが、スタッフ一同より安全でより安心の出来る医療を提供するように努力してまいります。

今年は、少しずつさわやかクリニックの環境も整備していきたく思っております。今よりさらに皆様のおそばに近づけるクリニックを目指してスタッフ一同がんばりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



新年のご挨拶

事務長 山口彦次



新年明けましておめでとうございます。昨年5月、新病院に移転してから初めてのお正月を迎えることができました。これも皆様のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

さて、新病院では電子カルテの導入により、会計の迅速化や自動精算機とレジの活用で以前よりも金銭出納において正確な会計が出来るようになりました。自動精算機は事務の立場からすると効率的でとても便利な機械であります。しかしながら自動精算機を利用される患者様にとっては操作方法がわからなかったり、機械が苦手だったりする方もおられると思います。そんなときにはお気軽に係の者に申し出て下さい。誠意をもって対応させていただきます。

また、一度自動精算機をご利用になられた方はお分かりになると思いますが、会計の後に「オダイジニ！」としゃべりかけてくれます。これがいいという方、そうでない方いろいろな意見が聞かれます。機械は組み込まれたことを実行するだけであり、そこには人間の暖かさ、ぬくもりが感じられないことは事実です。私たちは機械化された中で少しでも人の持つ暖かさ、優しさを大切にしていかなければなりません。

世の中は今、不況の波が押し寄せ、今後の動向が不安でなりません。そんな中で私たちは皆様の健康を守り、少しでも元気な生活を送るお手伝いが出来たらと思っております。今年「オダイジニ！」ではなく、心のこもった「お大事に！」を目指してがんばりますので宜しくお願いいたします。

今年の抱負

一般病棟看護師長
佐藤明美



皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は新病院移転・電子カルテ導入と、とにかく駆け抜けた一年のように思

います。新しい病院で働けるということは不安もありましたが、それ以上に自然とやる気も上がりました。皆様のご協力のおかげと全職員が頑張ったことで、新病院も早期に軌道に乗ることが出来たと思います。

さて、今年ですが、軌道に乗った須藤丸の中身を更に充実させる年になりたいと思っております。それには私自身が考えをはっきりと持ち、看護師達に伝え続けなければならぬと感じています。そこで、この場をお借りして今年の抱負をお話し、自身の行動をしっかりとさせたいと思っております。

最後に、須藤病院の看護師一同、この目標を徹底し患者様により良い看護を提供できるよう頑張りたいと思っております。本年もよろしくお願い致します。

看護部 本年の目標

須藤病院の全ての患者様が私たちの受け持ち患者様です。

外来・病棟・さわやかクリニックス・老健めぐみ、全ての患者様に、私たちが出来ることを精一杯行います。

患者様に関わる事で、受け持ちでないから知らない、わからないとは答えません。

最後まで責任を持って、行動します。